

金属プレス研修塾 明星金属工業を研修

日 時：令和6年2月2日（金）午後2時～4時
訪 問 先：明星金属工業株式会社（大阪府大東市野崎4-5-12）
内 容：挨拶、会社説明、工場見学、質疑応答など
参 加 者：15名（塾生 14名、委員長 1名）

金属プレス研修塾は10月に製鉄所（神戸製鋼所）、12月にコイルセンター（近江産業）の研修を行ないましたが、続けて今回は明星金属工業株式会社を訪れてプレス金型についての研修を行ないました。

明星金属工業株式会社は1950年（昭和25年）9月に設立、資本金1億3千万円、従業員145名、主に自動車用ボディ、ルーフ、ドアのプレス金型の設計・製作をしています。工場内には大型の金型や1,800tプレス機があり巨大さに驚かされました。

今回の研修では主に金型の設計について詳しくご説明頂きました。自動車メーカーからの3Dデータを社内で展開し、工程検討、設計検討、生産計画、方案検討など十分な準備段階を経て加工データの作成に入ります。3D設計システムなどを駆使して金型を設計して行きますが、3D-CAE解析シミュレーションソフトの運用のおかげで実際に金型を製造・組み立てをする前に材料や鋳物のたわみなどを計算して判断が出来るようになったそうです。シミュレーションソフト導入前に比べて納期もコストも削減出来ているそうです。しかし実際に金型を製造してもそれで完璧ではなく、圧力をかけた時に起こるたわみ・歪み、摩耗等がソフトでは分からないため微調整の研磨などは担当者が手作業で行う、いわゆる職人技の部分もあるとのことでした。金型を修正しては大型プレス機で加工してまた修正するという作業を何度も繰り返しながら金型を完成させるそうです。

このように技術力を結集して完成した金型を納品する際には『魂の伝達式』を行ない、顧客の上層部の方々に苦労話などを披露して完成を祝うと共に、自慢の金型でしっかりと生産をして欲しいという願いを伝えるそうです。皆さん誇りをもって仕事をしている姿が素晴らしいと思いました。

人材育成にも興味深いお話がありました。設計、解析ソフトは設計が楽になる反面、個人のスキルが上達するわけではなく、そのため入社後1年目は現場研修を実施しているそうです。福利厚生も充実しており、特に社員食堂は地産食材、安価で豊富なメニューなど他の企業にないレベルでした。

地域貢献にも力を入れ幼稚園から大学生インターン受け入れなど様々な活動をされています。地域に根差し技術力と人間力に溢れた企業でした。上田社長はじめ社員の皆様どうも有難うございました。



明星金属工業から会社説明（上2枚）



集合写真